令和７年度シラバス

教　科	科　　目	単位数	履修学年・クラス
数　学	数学Ａ	２	２－Ａ

１．学習の到達目標

場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について学ぶ。身近な事柄の中に使われていることが多い単元でもあるので、その内容をしっかりと理解し、社会において様々な形で数学が活かされている事を認識させ、問題解決できる能力を養う。また、数学の問題を論理的に解くことで、日常においても論理的に考え判断できる力を身につけ、人権問題における差別のない心を育てる。

２．学習の計画

	学　習　内　容	学　習　の　ね　ら　い
１学期	第１章　場合の数と確率 　第１節　場合の数 　　１～４　集合の要素の個数～組合せ 　第２節　確率 　　５～６　事象と確率～確率の基本性質	・数え上げの原則や、順列・組合せ及びその総数の求め方について理解させるとともに、それらを具体的な場面で活用できるようにする。 ・身近な事象を基にして、不確定な事象の起こる程度を「数」を用いて表現することについての理解を深めるとともに、事象を数学的に処理する能力を伸ばす。
２学期	第２節　確率 　　７～９ 独立な試行と確率～期待値 第２章　図形の性質 　第１節　平面図形 　　１～７　三角形の辺の比～作図 　第２節　空間図形 　　１～２　直線と平面～空間図形と多面体	・文章問題を解くことにより、応用力を身につける。また、社会に目を向け、事象を論理的に考えることにより、人権問題に対する意識を高める。 ・中学校での学習内容を基に、三角形の性質や円の性質など平面図形に関する基礎的な内容の理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・２直線や２平面の位置関係や直線と平面の位置関係、多面体などに関する基本的な性質の理解を深める。
３学期	第３章　数学と人間の活動 　　１～９ 約数と倍数～ゲーム・パズルの中の数学	・整数の性質を明確な定義のもと整理できるようにする。また、整数の問題に対して、基本的な概念や考え方を身につける。 ・数理的なパズルを取扱い、戦略を論理的に考える活動を通して数学的な思考力を身につける。

３．評価方法・評価の観点

評 価 方 法	考査による評価、提出物・授業態度等による総合評価。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し身に付ける。各単元における基本的な演算方法や定理を習得し、活用することができる。	事象を数学的に考察し、数学的知識・技能を応用して問題に取り組む姿勢や議論の方法を身につける。	数学の論理や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする授業に取り組む姿勢を身につける。

４．使用教科書・副教材

使用教科書	新編数学Ａ　（数研出版）
副　教　材	Study Up ノート数学Ａ　（数研出版）